

玉井小だより

平成28年8月31日

大玉村立玉井小学校

TEL (48) 3302

発行者 校長 佐藤一男

2学期も「玉っ子 みんなで チャレンジ」

8月25日(木)第2学期の始業式が行われました。朝、登校するときは、夏休みが終わってしまって、寂しそうな表情も見られましたが、体育館に入った子どもたちは、またみんなで勉強したり、運動したりできることをとても喜んでいるようでした。

4年生が夏休みの思い出と2学期の目標を発表しました。とてもいい文章です。

ぼくは、夏休みに沖縄に行ったことが一番心に残りました。この企画は、震災にあった福島の子どもの保養プロジェクトの一つで、沖縄の久米島という島に9日間行ってきました。

最初は、「友達ができるかな」「9日間もだいじょうぶかな」などたくさん心配がありました。でもすぐに、ちゃんと友達はできました。そしてどんどん友達が増えたので安心しました。いつの間にか心配していたことがだんだん少なくなってきました。久米島の人達やスタッフの人達はやさしいし、楽しいイベントもたくさんありました。

きれいな魚たちがたくさん泳ぎ、海の底まで見るととてもきれいな海で泳いだり、地元の人達と遊んだり、生き物もたくさん見ました。テレビやゲームはまったくなかったけど、とても楽しく、あっという間に感じた9日間だったので、機会があったらまた行きたいです。魔よけのシーサーもつくってきたので、焼き上がって、送られてくるのも楽しみです。

ぼくは、このような思い出に残るプロジェクトに参加しているので、大きくなったらボランティアに参加して恩返しがしたいです。

2学期のめあては二つあります。一つ目は字をきれいに書くことです。1学期は急いで書こうとして、てきとうに書いていたので、2学期からはきれいに書こうと思います。

二つ目は、漢字、計算の復習をすることです。1学期は復習をあまりしていなかったので、2学期にはきちんとやりたいです。

このめあてを達成できるようがんばりたいです。(4年 野内侑樹)



【野内侑樹さん】

久米島の碧い海が目に見えるような気がします。

新たに一步踏み出すことで、子どもたちは、どんどん世界を広げていきます。子どもたちは大人が思っている以上に好奇心旺盛です。どんどん新しいことに挑戦して、学んでいきます。もちろん子どもたちは、失敗からもたくましく学んでいきます。

機会を与えてやるのが大切なのだと思います。

(裏へ続きます)



ぼくは、夏休みが始まる前に、今年の夏は、お家のお手伝いをがんばろうと決めました。

ぼくは、夏休みの間、せんとく物を干したり、犬のエサをあげたり、犬の散歩をしたりと、毎日がんばって手伝いを続けてきました。

ぼくは、手伝いをしていく中で、だんだん手伝いが楽しくなってきました。こんなに楽しい手伝いを、ぼくはこれからも続けていきたいと思っています。

【小高優弥さん】

2学期がんばりたいことは、二つあります。

一つ目は、漢字練習をしっかりとやることです。1学期は、漢字のまとめのテストで、一発で合格することができませんでした。2学期は、きれいに書くことを意識して、漢字のまとめのテストを一発で合格できるようにしたいです。

二つ目は、元気なあいさつをみんなにとどけることです。ぼくは、運営委員会に入って、1学期はしっかり大きな声であいさつをすることができました。2学期もみんなに元気なあいさつをして、元気な玉井小学校をみんなで作っていききたいです。

この二つをしっかりと守って、笑顔の絶えない2学期にしていきたいです。

(4年 小高優弥)

「元気なあいさつをみんなにとどける」

なんて素敵な表現でしょう。あいさつは、ただ言うだけのものではなく、相手に届けるものなのだという事を教えられました。子どもたちはすごいなと思います。

2学期も、子どもたちが勇気をもって一步踏み出し、「新たな世界」を見ることができるよう、全職員が心一つにして指導していきます。よろしくをお願いします。

PTAキャンプ大会

8月27日(土)から28日(日)にかけて、玉井小学校で、PTAキャンプ大会が行われました。あいにくの雨になってしまいましたが、体育館とその周りで予定どおり行われました。学校は地域の貴重な財産です。学校を有効に活用していただき、地域の「つながり」や「絆」が深まれば、こんな嬉しいことはありません。来年こそは、ふかふかの緑の芝生の上にテントを張って、キャンプ大会が開催できればいいなと思っています。



【バーベキュー みんなでおいしく食べました】



【体育館の中にテントを張りました】